

## 1.17 ひょうご安全の日宣言

阪神・淡路大震災から 29 年が経った  
私たちは国内だけでなく 世界の多くの人たちにも  
この震災の教訓を知ってもらいたい 活かしてもらいたい  
そのように願って 伝え続けてきた

東日本大震災から 12 年が経過して  
余震域での地震活動は弱まりつつあったが  
新たに震度 7 の能登半島地震が発生し  
東日本大震災以来となる大津波警報も発表され  
日本海側の広い範囲に甚大な被害をもたらした

地球温暖化がさらに進み 線状降水帯や強い雨が猛威を振るった  
浸水被害は秋田・岩手・熊本・沖縄など 32 府県の地域で起こった  
和歌山・兵庫を縦断した台風 7 号では 鳥取で大雨特別警報が発表され  
関東方面を襲った台風 13 号では 3 県で洪水氾濫を起こし 死者が発生した  
摂氏 35 度以上の猛暑日が群馬で 46 日を記録し 観測史上最多となった

高温・少雨・干ばつなどの異常気象は世界中で報告され  
リビアでは豪雨でダムが決壊し 8 千人以上の住民が犠牲になり  
ハワイでは少雨とハリケーンの強風で 市街地延焼被害が拡大した  
トルコ・シリア地震では 5 万 6 千人以上の犠牲者を数え  
モロッコなどでも大規模な地震災害が発生した

このかけがえのない地球も 私たちの命も一つしかない  
私たちは省エネ・脱炭素の取り組みと 命を守る減災を日々進めていく

忘れない 伝える 活かす 備える 阪神・淡路大震災の教訓を  
震災の教訓は すべての時代に通じる知恵だから

2024年1月17日

ひょうご安全の日推進県民会議